

令和7年度 重点努力目標及び具体的な実践努力事項と評価

〈評価の観点〉 4：とてもそう思う 3：概ねそう思う 2：あまりそう思わない 1：まったくそう思わない

| 重点努力目標 | | 具体的な実践努力事項 | 評価 |
|-----------------|--|--|---------|
| 豊かな心の育成 | 互いのよさに気づき、伝え合う継続的な活動 | ① 生徒のよさや頑張りに目を向け、自己肯定感を高める言動に努めた。 | 4・3・2・1 |
| | | ② 生徒が互いのよさに気づき、認め合う場面を継続的に設定できた。 | 4・3・2・1 |
| | | ③ エンカウンター的な手法などを用いて集団の支持的風土を高めた。 | 4・3・2・1 |
| | 互いの夢や志を語り合い、認め合う活動の工夫 | ④ 生徒の考えを引き出し、互いの考えを尊重しながら議論する道徳の実践に努めた。 | 4・3・2・1 |
| | | ⑤ すべての教育活動で人権が尊重される学習活動や人間関係づくりを進めた。 | 4・3・2・1 |
| | | ⑥ すべての生徒が自分の夢や志を堂々と語り合える進路学習や人権学習に努めた。 | 4・3・2・1 |
| | 主体的に活動し、自己有用感を高める活動の工夫 | ⑦ 授業、集会、帰りの会等で出番と活躍の場を設定し、自己有用感を高めた。 | 4・3・2・1 |
| | | ⑧ 生徒自ら課題を見つけ、解消に向けた取組を工夫する生徒会活動を支援できた。 | 4・3・2・1 |
| | | ⑨ 一人一人が目的と役割を自覚し、果たす喜びを感じられる行事を工夫できた。 | 4・3・2・1 |
| 確かな学力の育成 | 分かる授業への工夫・改善 | ⑩ 「学力向上やつしろプラン」や「授業改善ステップワン」の視点に立った工夫・改善に努めた。 | 4・3・2・1 |
| | | ⑪ 「四中授業モデル」に則した授業を行い、生徒の主体的な学びや学習内容の定着を図った。 | 4・3・2・1 |
| | | ⑫ UDの視点や応用行動分析学を意識し、適切な学習支援に繋がるよう工夫した。 | 4・3・2・1 |
| | 学習内容の定着と意欲の向上 | ⑬ 効果的な振り返りや「eライブラリ」の有効活用を工夫し、学習内容の定着と深化を図った。 | 4・3・2・1 |
| | | ⑭ 「軌跡」ノートで家庭学習や生活の見取りを行い、意欲と質を高めるコメントやアドバイスに努めた。 | 4・3・2・1 |
| | | ⑮ 小中連携の授業参観や研修会を通して学力面の課題や改善策を共有し、実践できた。 | 4・3・2・1 |
| | 課題克服対策の着実な実施 | ⑯ 全学調・県学調・市学調の結果を全職員で分析し、現状と課題の把握に努めた。 | 4・3・2・1 |
| | | ⑰ 本校の「学力向上の(PDCA)改善検証サイクル」に則した取組を実施できた。 | 4・3・2・1 |
| | | ⑱ 過去の問題や課題克服問題を授業で効果的に活用するよう工夫した。 | 4・3・2・1 |
| 積極的な生徒指導の実践 | 基本的な生活習慣と学習規律の確立 | ⑲ 普段から生徒のよい点や頑張りを家庭に伝え、課題共有も円滑にできるよう努めた。 | 4・3・2・1 |
| | | ⑳ 基本的な生活習慣や「授業の約束」への意識向上や徹底を図る語りや委員会活動を工夫した。 | 4・3・2・1 |
| | | ㉑ 「やつしろスピリッツ」のねらいや効果への意識を高め、実践意欲を高めるよう努めた。 | 4・3・2・1 |
| | いじめや不登校の未然防止 | ㉒ 「軌跡」ノートや相談活動、定期的なアンケートなどを通して、いじめ等の早期発見に努めた。 | 4・3・2・1 |
| | | ㉓ 定期的な対策委員会での情報共有や「いじめ防止基本方針」に則した組織的対応を心がけた。 | 4・3・2・1 |
| | | ㉔ 「愛の1・2・3+1」の実践と家庭との連携を心がけ、不登校の未然防止と改善に努めた。 | 4・3・2・1 |
| | 安心・安全な風土づくり | ㉕ 生徒自ら安心して過ごせる学校づくりをめざす生徒会活動や学級・学年活動を促すことができた。 | 4・3・2・1 |
| | | ㉖ 校内教育支援センター(別室学習)の目的や支援体制を理解し、必要に応じて活用できた。 | 4・3・2・1 |
| | | ㉗ 「よりそい愛言葉やつしろ」の具体例を参考に、生徒を理解し受け止める声かけを実践できた。 | 4・3・2・1 |
| 家庭・地域と共にある学校づくり | ㉘ 生徒のよさや頑張り、教師の思いなどを通信等で家庭・地域に発信できた。 | 4・3・2・1 | |
| | ㉙ 地域と共にある学校を意識し、地域行事や会合へ積極的に参加しようとした。 | 4・3・2・1 | |
| | ㉚ 保護者・地域と協力して共に育てることを意識し、子供の夢や課題の共有に努めた。 | 4・3・2・1 | |